



第87号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟  
会長 岩崎 貞夫

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18  
サンライズニの宮 1-B  
TEL・FAX (0776)28-6616  
メール fkiendo@herb.ocn.ne.jp

平成二十六年度  
部会・委員会報告

総務・企画運営部会



部会長  
河越 純二

平成二十六年度は、事業の見直しと充実に努めました。

特に、福井県剣道大会一般の部の開催地や運営方法等を検討した結果、ブロック持ち回りとし、事業部・事務局・開催ブロックが共同で行うことにまとまりました。これを理事会、評議員会に提案し、了承をいただき、平成二十七年からは新たな運営方法で大会が開催されることとなります。

また、強化事業では、スーパーアドバイザー佐藤成明範士八段、成年

の部アドバイザー高橋俊昭範士八段、少年の部アドバイザー神崎浩教士八段を定期的（年間5〜6日）に招き、強化選手や指導者を対象にした講義、指導実践を通じた選手強化、指導者の資質向上を図りました。

これらの企画運営の会議や打合せは十数回に及び、部員の皆様の熱意に心から感謝申し上げたいと思えます。そのうちの主なものを報告します。

（主な協議内容）

平成二十六年七月二十四日

・「平成三十年第73回国民体育大会福井大会剣道競技 特別協力金」  
平成二十六年分納入の依頼について

平成二十六年十二月二日

・平成二十七年事業計画について  
平成二十七年一月十五日

・平成二十七年福井県剣道大会一般の部について

平成二十七年二月二十七日

・強化費について

この一年間、各部会には、事業の充実、発展のために並々ならぬご努力をしていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、三年後に迫った福井国体は、福井県剣道連盟会員の皆様の変わりない絶大なご支援、ご協力の上に、一枚岩になり、必ずや全種別優勝を成し遂げましょう。

強化・選考部会



部会長  
柳原 潤一郎

強化・選考部会では、四つの委員会において全国大会に向けた選手強化および代表選手の選考を行ってきました。特に三年後の福井国体に向け、中学委員会と高校委員会の協力による少年の強化が軌道に乗ってきました。また、成年委員会でも県外遠征や練習試合の頻度を高めています。少年委員会では福井国体の該当世代は卒業しましたが、平成三三年のインターハイが北信越で開催予定となり、地元での開催も視野に入れた強化が必要となってきました。詳

しい内容については、各委員会からの報告を参照ください。

事業部会



部会長  
奥井 俊雄

平成二十六年度活動報告については、以下のとおりです。  
剣道中央講習会伝達講習会

（四月二十日）

福井県立武道館において、全剣連の剣道中央講習会を受講された西川譲先生、堀江範雄先生の両講師のもと、五十三名の受講生が参加し伝達講習会が行われました。

福井県知事杯第十一回福井県剣道選手権大会  
（六月十六日）

高浜町中央体育館において、各地区、団体より選抜された男子三十六名、女子二十四名の選手が参加して行われました。

14県民スポーツ祭市町村対抗の部  
（八月三日）

福井県立武道館において行われました。

第六十二回福井県剣道大会  
（九月二十三日）

福井県立武道館において、一般男

女の部に男子三十チーム、女子十七チーム計二〇一名の選手が参加し行われました。

剣道指導法講習会 (十月五日) 福井県立武道館において、講師に教士八段東良美先生(愛知県警察剣道範士)を迎え、約五十名の指導者が参加し行われました。

本年度も各種大会・講習会等の実施を行います。

特に、毎年開催しています福井県剣道大会の開催において、各地区剣道連盟のご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

審査部会



部会長 林 茂夫

平成二十六年事業計画のとおり、年四回の剣道形講習並びに剣道段位審査会を実施しました。

本年三月二十二日には、段位審査員の意思疎通を図る目的で、相模、堀江、川野先生のもと講習並びに実際に実技審査の研修会を行いました。平成二十六年度の事業計画にはありませんでしたが、理事会の了承を得て実施しました。本年度からは審査

員の講習会を事業計画に組み入れて実施します。

本年度も剣道形講習会並びに剣道段位審査を事業計画とおり実施します。

広報部会



部会長 坂本 裕一郎

広報部会では、年四回の「剣道だより」の編集・発行および連盟ホームページの掲載・管理を主な業務として行っています。

当連盟の広報紙である「剣道だより」は、今号で第八十七号の発行となります。第八十号(平成二十五年九月発行)からは、会員の皆様に直接郵送することとし、ホームページへの掲載と合わせて、確実に情報をお伝えする体制を整えています。各種大会の結果や行事の報告のほか、少年剣道団体、中学校・高校・大学剣道部、実業団、各地区剣道連盟等の活動紹介、女性剣士のリレーエッセイなど、県内各地で活躍する剣士の皆さんの記事をできるだけ多く掲載するよう努めています。平成二十六年からは「地区連盟だより」の

コーナーを新たに設け、各地区剣道連盟主催の大会・行事等についても積極的に発信しています。

ホームページでは、大会結果の速報や行事予定など、より迅速に、きめ細かい情報を提供することとしていきます。

平成二十七年でも、引き続き、剣道だよりやホームページの内容の充実を図ってまいりたいと考えています。

今後とも、広報部会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

居合道部会



部会長 高橋 滋

居合道部会の活動としては、年間四つの大きな関係事業があります。

- 一 福井県居合道大会
  - 二 居合道段級審査会及び講習会
  - 三 居合道伝達講習会
- 団体戦、六く七チーム参加。個人戦、段別で約二十く二十五人参加。二十人前後の参加、石川県剣道連盟から数人の七く八段の先生を数人お呼びして開催

居合道七段の玉村先生をはじめその他の先生により、中央講習会にて教授頂いた内容の伝達

越前市武道館において居合道上達を目的としての稽古会

その他 五月新潟大会、十一月富山大会、十二月大阪大会参加

以上が居合道委員会の活動であります。そのほかにも、各都道府県での講習会や各地区連盟の試し切りなどの、活動があります。全日本剣道連盟が推奨する「剣居一体」を少しでも広めていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

国体準備部会



部会長 岡田 要

国体準備部会は、平成三十年度の福井国体の大会運営の準備などを行うために二十六年より設置されました。開催地の福井市国体推進室と協議しながら二十六年に決定したことを報告いたします。

国体の競技役員とその人数をほぼ確定しました。今後は、これに具体

的に人員を割り当てていくことになりません。そのうえで本格的な実行委員会（仮称）を組織していかなければならないと思います。また、プレ大会について、二十九年度の高校の北信越大会をあてることになりました。プレ大会での福井市との役割分担、予算の割り振りなどを、おおまかですが話し合いました。

このほか、国体までにすべきことはたくさんあると思われまます。皆様のご協力をお願いいたします。

### 成年委員会



委員長  
柳原 潤一郎

六月二十九日、成年アドバイザーの高橋俊昭先生をお招きし、警察学校体育館にて強化練習会を開催しました。素振り、切り返し、基本打突と打ち込み稽古を中心に、入念に何度も繰り返して地力を高めました。

七月十二〜十三日、岐阜県羽島市で開催された国体強化錬成会に参加しました。毎年この時期に全国の国体成年チームが集まり、試合稽古を中心に錬成を行います。各県一チームが基本ですが、福井県は特別に男

女各二チームの参加を認めていただき、強豪県との試合を通して錬度を高めました。

八月二日には京都に遠征しました。午前中は各県国体チームとの試合稽古、午後は全剣連の西日本合同稽古会に参加しました。

八月六〜八日、二十一〜二十三日には北信越国体突破に向け、女子の強化練習を行いました。暑い中での強化でしたが、東京からふるさと選手の手細川さんも駆けつけ、結束力を高めることができました。その成果が実り、八月二十四日、石川県で行われた北信越国体では見事に一位となり、長崎国体の出場権を獲得しました。

九月十三〜十四日には高橋俊昭先生、十月四日には愛知県から東良美先生をお迎えし強化練習を行いました。長崎国体に向け志気を高めることができました。

十一月二十二〜二十三日、本県チーフアドバイザーの佐藤成明先生、高橋俊昭先生をお招きし、強化練習会を行いました。二十三日には中体連、高体連の先生にも参加していただき、基本錬成を中心にご指導いただきました。

一月二十五日、男子の全日本都道府県対抗優勝大会の選手選考会を行いました。

二月七〜八日には県外遠征を行いました。七日は愛知県武道館で行われた中部地区合同稽古会に参加し、八日には大垣市にて岐阜県国体、都道府県チームとの試合稽古をお願いしました。

二月二十二日、和歌山国体の第一次選手選考会を行いました。参加選手による試合の結果を基に、男子は各部門二〜五名の強化選手を、女子は北信越国体の代表選手を選考しました。

三月二十九日には女子の全日本都道府県対抗優勝大会の選手選考会を行いました。先鋒の高校生を除く四部門で争われ、次鋒の大学生の部には、県外に進学している選手の参加も見られました。なお先鋒は、インターハイ予選により選出する予定です。

年度は替わりますが、四月十〜十一日には和歌山県、岐阜県、石川県、富山県をお迎えし、国体と都道府県対抗大会に向けた試合錬成、合同稽古会を行いました。今年国体開催を控える和歌山県からは、地元開催に向けた強化の在り方を学ぶ機会にもなり、充実した二日間となりました。

また、三月からは毎週土曜日十八時より県立武道館にて定例強化稽古を重ねています。

成年委員会は強化選手の年齢幅が

広く、職業も様々ですが、各種の強化会には皆さんが日程をやりくりし、仕事の都合を付けて多数参加していただいています。また、強化選手以外でも毎回自主的に参加いただいている方もおられます。おかげで他県の先生方から、「福井は力を付けてきた」と言われることも多くなりました。今後とも多数の方々のご理解とご協力をいただきながら、地元国体優勝に向けて強化を進めたいと思います。

### 高校委員会



委員長  
岩谷 治彦

福井県高体連剣道専門部専門委員長の岩谷です。福井国体を3年後に控え、より一層競技力向上に力を入れていきたいと考えております。

先日行われた全国高等学校選抜剣道大会で、敦賀高校が久しぶりに予選リーグを突破しベスト16に入りましたが、インターハイ、全国選抜大会で入賞する学校が出てくるような強化策を練り、競技力向上に努めていきたいと考えます。

また、ジュニアアスリーットの強化

も加速しなければなりません。毎月行われる強化稽古会はもちろんのこと、九月以降の強化策も県剣道連盟と連携を取りながら進めていきたいと考えております。

中学委員会



委員長  
小辻 淳二

福井国体に向けて、中学生の強化も二年目が過ぎようとしています。

昨年に引き続き、夏季大阪遠征、秋季近県錬成会、冬季加古川遠征、春季京都遠征、月二回の今庄での強化練習を通して着実に力を着けてきました。十二月の宮川旗争奪大会では女子が優勝、男子が二位、一月の東龍杯争奪大会では女子が二位、男子が三位と安定した結果を残しました。

アドバイザーの神崎浩先生には八月の大阪遠征、十一月の合同強化訓練、十二月の強化練習会、宮川旗において、選手達に直接指導をいただきました。素直な心で一生懸命に剣道に打ち込む選手達の様子を見て、手応えを感じていただいています。

今年は強化三年目、県強化指定選

手の人数も増やし、選手間の競争も激しくなります。中体連大会での上位入賞を目標にして中学委員会が一丸となつて強化を推し進めていきたいと考えています。今後も引き続き、ご支援、ご協力のほどよろしくお願ひします。

少年委員会



委員長  
船田 久三郎

平成二十六年度活動報告については、次のとおりです。

一 福井県ジュニア育成強化稽古会の開催について

平成二十六年二月二日(日) 福井県立武道館において、第八回福井県ジュニア育成強化剣道錬成大会を開催し、各部門においてベスト八に入賞した四十八名(小学二年以上)の選手を、平成二十六年年度強化育成選手に指定し、福井県立武道館を会場に、一年間を通じて(毎月一回)技術力の向上等を図ることを目的に実施しました。

二 平成二十六年度福井県選抜チームの遠征について  
平成二十六年度の本県選抜チー

ムとして、小学校六年生女子、南元優那(向笠剣道)及び小学校五年生男子、奥村龍也(福井養正館)・大和泰雅(同)・植村啓吾(木田剣道)・徳橋知輝(同)の計五名を選出し、同年八月二十三日(土)から二十四日(日)までの二日間、静岡県小山町総合体育館において開催された、第二回富士山杯争奪少年少女剣道大会前日錬成会及び同大会に出場し、関東含む近隣県、大阪府及び愛知県等の強豪チームと数多くの錬成会を行うことが出来ました。

また、同大会には、一〇九のチームが出場し、仕掛け技を中心に繰り広げ、昨年と同様、ベスト十六に連続入賞することができました。

三 第九回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会に出場して  
平成二十六年九月十四日(日) 大阪市舞洲アリーナにおいて、同大会が開催され、福井県選抜チームが出場し、昨年に引き続き、二年連続決勝リーグに勝ち進むことが出来ました。また、本県からも多くの応援団が観戦に見えられ、祝福を受けていました。

四 第五回福井県少年剣道強化錬成会の開催について  
同年十二月十四日(日) 福井県立武道館において、錬成会を開催

し、県内の剣道教室から五十五チーム(約二七五名)が参加し、錬成会及び申合せ稽古会を行い、技術の向上及び交流を図ることを目的に実施しました。回数を重ねるごとに参加人数も増え、魅力ある錬成会になっています。



大会報告行事報告

平成26年度冬季選手権大会  
兼全国高等学校剣道選抜大会予選

平成二十七年一月十八日(日)  
於 福井県立武道館

男子団体の部

- 優勝 敦賀高校
- 第二位 北陸高校
- 第三位 啓新高校
- 第三位 丸岡高校

女子団体の部

- 優勝 敦賀高校
- 第二位 美方高校
- 第三位 丸岡高校
- 第三位 北陸高校

第63回全日本都道府県対抗剣道優勝大会  
福井県選手選考会

平成二十七年一月二十五(日)

於 福井県立武道館

本年四月二十八日に大阪府で開催される「第63回全日本都道府県対抗剣道優勝大会」の福井県選手選考会において、各部門の一位が代表選手として選出されました。

先鋒(高校生)

岡田悠貴彦(高志高校)

次鋒(大学生)

梅田 圭仁(国士舘大学)

五将(一般35歳未満)

富田 成慈(福井刑務所)

中堅(教職員)

和中 律英(福井東特別支援学校)

三将(警察職員)

鹿本 裕登(福井県警察機動隊)

副将(一般35歳以上)

川村 信也(福井アカデミアホテル)

大将(50歳以上教士七段以上)

堀江 範雄(福井県警察本部)



第24回北信越高等学校  
剣道新人大会

平成二十七年一月三十一日(土)～二月一日(日)

於 砺波市庄川体育センター

男子団体予選リーグ

Bブロック

敦賀気比 2本勝ち2 石川県立工業

敦賀気比 0-2 富山工業

Cブロック

敦賀 1-0 南砺福野

敦賀 2本勝ち2 長野商業

Fブロック

北陸 2-1 富山東

北陸 1-2 松代

Gブロック

福井 2-1 富山第一

福井 0-2 新潟第一

男子団体決勝トーナメント

敦賀 0-3 羽咋

\*ベスト8

女子団体予選リーグ

Bブロック

丸岡 0-2 帝京長岡

丸岡 2引き分け2 金沢桜丘

Dブロック

敦賀 0-2 長野商業

敦賀 2-1 南砺福野

Eブロック

北陸 2-1 富山

北陸 2-1 長野日大

Fブロック

美方 0-2 佐久長聖

美方 1引き分け1 高岡工芸

女子団体決勝トーナメント

北陸 0-5 新潟商業

\*ベスト8

第70回国民体育大会(和歌山国体)  
選手選考会

平成二十七年二月二十二日(日)

於 福井県立武道館

成年男子の部には総勢40人が参加し、各部門の強化選手が選出されました。今後の強化練習会や二次選考会の結果を踏まえて選手が決定されます。

成年女子の部には11名が参加し次の方々が代表選手に選考されました。和歌山国体の出場権をかけて八月二十三日、富山県で行われる北信越国体に出場します。

成年女子

先鋒(三〇歳未満)

伊藤 藍子 (啓新高校教員)

中堅(三〇歳以上四〇歳未満)

細川 梨絵(日本体育大学職員)

大将(四〇歳以上)

森 宜子 (森歯科医院)

### 第7回都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選会

平成二十七年三月二十九日(日)

於 福井県立武道館

みだしの予選会が開催され本県代表選手が選考され、七月十八日東京日本武道館で開催される本大会に出場します。なお先鋒の部(高校生)は六月のインターハイ県予選会の結果を基に選考します。

次鋒 鈴木香菜子 (立命館大学)  
中堅 伊藤 藍子 (啓新高校教員)  
副将 高嶋 寿美 (藤島高校教員)  
大将 道内由佳里 (金井学園職員)

### 第24回全国高等学校剣道選抜大会

平成二十七年三月二十七日(金)～  
二十八日(土)

於 愛知県春日井市総合体育館

今回の全国高校剣道選抜大会において、敦賀高校男子は福井県勢で十数年ぶりとなる予選リーグ突破を果たし、ベスト16となりました。

予選リーグ一試合目の東奥義塾(青森)戦では、先鋒小荒から足を止めない粘り強い剣道でつないでいきますが、中堅山川が居着いたところに面を乗られません。しかし、出端の小手を取り返し引き分け、結局五

引き分けてチームの結果も引き分けでした。

予選リーグ二試合目の龍谷(佐賀)戦では、三引き分けの後、副将志賀が値千金の面を決め勝利、大将馬淵が手堅く引き分けチームは勝利しました。

その後、予選リーグ三試合目で龍谷が東奥義塾に勝利したため、敦賀の決勝トーナメント進出が確定しました。

二日目の決勝トーナメント一回戦、佐野日大(栃木)戦は、先鋒小荒が退き胴を決め勝利するも、力をつけてきている網田が二本負けすると中堅山川、副将志賀も負け、チームの負けが確定します。佐野日大の大将は優秀選手に選ばれるほどの強さでしたが、大将馬淵は面を先取されるもの、面を取り返しました。しかし、さらに面を取られ負けました。

今回の試合は、勝者数・勝ち本数ともに少なかつたですが、足を使つて粘り強くつなく剣道でベスト16という結果を残すことができました。福井国体に向けて、一つ弾みがつけたのではないかと考えています。

二十七年年度、県内各校の新チームが県予選からのぎを削り、次は福井県勢がインターハイで上位進出できるよう、頑張つていきたいと思えます。

記 丸谷 寛

男子団体 予選リーグ

敦賀 1-1 東奥義塾(青森県)

敦賀 1-0 龍谷(佐賀県)

男子団体 決勝トーナメント

敦賀 1-4 佐野日大(栃木県)

\*ベスト16

女子団体 予選リーグ

敦賀 0-2 八代百合(熊本県)

敦賀 0-1 広島皆実(広島県)

### 第37回全国スポーツ少年団剣道交流大会結果報告

平成二十七年三月二十七日(金)～  
二十九日(日)

於 埼玉県立武道館

小学生団体戦予選リーグ1戦目は山口県代表との対戦。終始リードされるも大将戦で追いつき、引き分けに持ち込みました。次に山口県対栃木県の対戦が行われたのですが、接戦の末、山口県が勝利。向笠剣道スポーツ少年団が決勝トーナメント進出をするためには栃木戦で3勝6本以上が必要となり、大変苦しい状況になってしまいました。しかしチームが一丸となって戦い、ドラマチックな試合展開で3勝6本を奪い、代表戦に持ち込むことができました。

惜しくも代表戦で敗れ、決勝トーナメント進出は成りませんでした。大きな感動を与えてくれる立派な戦いでした。

中学生男子個人戦に出場した橋本恭佑選手、女子個人戦に出場した笠嶋璃奈選手とも善戦しましたが、予選リーグ突破は成りませんでした。夢の大舞台で経験した感動や涙は、何事にも代え難い貴重な経験であり、子どもたちの心に、そして応援団の心にも深く刻まれ、今後の人生を送る上での大きな糧になりました。大会参加にあたりご支援下さった皆様、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

以下、選手の感想を紹介します。

「私は皆さんへの感謝の気持ちを忘れずにがんばりましたが負けてしまいました。今までの恩返しができませんでした。でももう一度あの場に立てるように、大会まで続けていた素振りこれからも続けていきます。そして今度こそは皆さんを喜ばせられるようにがんばります。」

(向笠剣道スポーツ少年団 先鋒 河原奈那美)

「全国大会に出場できたこと、優しく教えてくださった先生、いつも支えてくれた家族への感謝の気持ち

は、簡単に言葉に表すことができないくらいいっぱいです。最後の試合が全国大会という大きな大会であり、そこでみんなでいい結果を出すことができて嬉しかったです。これからも感謝の気持ちを忘れずにがんばりたいです。」

(次鋒 南元優那)

「大会では惜しくも負けてしまいました。良い経験となりました。福井ではなかなか見られないような強い人の試合を見て勉強になりました。6年生最後の試合をいいチームでいい試合ができたのでよかったです。忘れられない思い出になりました。中学校に行ってもこの経験を生かして剣道が続けたいと思います。」

(中堅 河原康太)

「他の県の強い人と試合をするのは緊張したし、今まで習ったことを生かして試合ができるか心配でした。でもチームみんなでつながる試合をしようと思いがんばりました。私はいい結果を出すことができなかったけれど、このチームにしかできない感動の試合ができたと思います。いい経験になりました。そしてチームの大切さについて考えることができました。このチームでの最後の試合

がいい試合になってすごく嬉しかったです。」

(副将 呉林真帆)

「全国大会では勝つのも、一本取るのもとても難しいです。一本取るにはえらい稽古を乗り切った人だけが一本というすばらしい結果を出せるんだと思います。1勝1引き分けといういい成績を収められたのはほくただけの力ではなく、応援してくださった皆さんや先生方、保護者、仲間の応援があったからこそです。代表戦では期待に応えられませんでした。この負けを元にしてこれからも剣道ががんばります。応援よろしくお願いします。」

(大将 奥村龍也)

小学生団体戦

予選リーグ (Kリーグ)

優 勝：広島県

準優勝：岡山県

三位：福島県、富山県

中学生男子個人戦

予選リーグ (Hリーグ)

橋本 恭佑 (福井県) 三位

たくさんの方々に応援していただきありがとうございます。今回の埼玉全国大会では2敗という悔しい

結果になりましたが、自分の弱点や強い人の良いところを見つけることができたので、「自分を変える」ための良い経験になりました。このような場を与えていただきありがとうございます。」

(丸岡剣道スポーツ少年団 橋本恭佑)

中学生女子個人戦

予選リーグ (Bリーグ)

笠嶋 璃奈 (福井県) 三位

今回の試合では1勝もできず2敗してしまいました。ですがその試合で自分のためなところや隙が分かりました。二人ともとても強い相手でしたが、どんな相手にも立ち向かっていけるようにしていきたいです。またもつと力をつけて、次回出場できたときは1勝でも多く勝てるようがんばっていきましょうと思います。」

(木田剣道スポーツ少年団 笠嶋璃奈)



# みんなの広場

## 剣道部・クラブ紹介

### 南条地区剣道連盟

本連盟は、昭和三十三年に当時今庄小学校長の故三田村清先生をはじめ、故西川政廉先生、故中村利雄先生、大草一二先生、村上光男先生等の剣道振興の熱意により「南条郡剣友会」として発足されました。現在、県剣道連盟会長も務められています。岩崎貞夫会長を中心に活動し、後進の育成に励んでいます。

本連盟は、発足以来小学生や中学生の剣道指導に力を注いできました。その結果は皆さんもご存じのとおり、前田穂積先生、関博之先生、西川讓先生、惣次勇先生が全日本選手権大会福井県代表となっていることをはじめ、全国中学校剣道大会や全国高等学校剣道大会に出場し活躍する選手を多数輩出し続けています。

本連盟の一年は、一月一日に行う初稽古から始まります。この行事は、四十年近くに亘って続いています。初稽古は、南条地区の小学生や中学生、高校生、一般の会員だけでなく、正月に全国各地から帰省した剣士や県内各地から参加した剣士も加わり

百数十名の剣士により盛大に開催されます。寒い中、保護者の方々も大勢初稽古を見に来られます。初稽古後には、保護者のご厚意により豚汁などが用意され、稽古で疲れた体を癒してくれます。今後もこのようにたくさんの方が参加してくれる初稽古を南条地区剣道連盟の伝統行事として続けていきたいと考えております。

また、新しい試みとして、昨年度から町民スポーツ祭において東西対抗試合を行っています。岩崎会長自らが率先して東西対抗試合に出場されましたので、普段試合をされない方々も出場され、大変な盛り上がりのある催しとなりました。

現在一般の会員は55名が所属し、役員は以下の通りです。

- 会長 岩崎 貞夫
- 副会長 前田 穂積
- 谷崎 功
- 理事長 山岸 浩一
- 事務局 西川 航平
- 主な年間行事
- 5月 総会

- 6月 町民スポーツ祭・級審査
- 8月 県民スポーツ祭
- 9月 県下剣道大会
- 10月 級審査
- 1月1日 初稽古
- 3月 郡剣道大会・級審査
- 一般稽古会 毎週木曜日午後八時から九時 今庄中学校武道場
- 傘下剣道スポーツ少年団
- ・今庄剣道スポーツ少年団
- ・南条剣道スポーツ少年団



### 武道学園剣道教室

武道学園剣道教室は、約六十名おり武道館という恵まれた場所で、週2回水曜日と金曜日に4つのクラスに分かれて、6時から7時半までそ

れぞれみんな稽古に励んでいます。

稽古内容は、準備運動の後素振りをし、面を付けて、切り返し、面打ち、小手打ち、胴打ちをしています。その後、先生方と一緒に互角稽古をします。そして、掛かり稽古、切り返しをします。試合前は、土曜に自主練習を行います。自主練習は、試合中心に稽古をしています。夏は暑中稽古、冬は寒稽古もあります。

これからも大会で、良い成績を残せるように、仲間とともに一回一回の稽古を集中して取り組み、自分の悪いところを意識していきたいと思えます。そして、教えて下さっている先生方に感謝の気持ちを忘れずに日々精進していきたいです。

飯田 晃己



### きらやま剣道教室

三方上中郡若狭町三方50-9

(三方小学校内)

練習日 毎週水曜日

午後7時～8時30分

練習場所 町立三方小学校体育館

きらやま剣道教室（三方地区剣道連盟に所属）は昭四十七年四月に三方町第一小学校（現若狭町三方小学校）3年生以上を対象に社会教育の一環として同体育館を道場とし、校下の剣道経験者が指導にあたったのが始まりといわれています。

現在、当教室は毎週水曜日を練習日とし、全学年を対象に午後7時から8時30分まで（低学年は8時まで）三方小学校体育館で稽古を行っています。

稽古前には、教室の誓いの言葉「私達は剣道によって礼儀を正しくし、両親に感謝し、先生を敬い、剣道少年としての誇りをもって正しい道を歩いて、世の中のために役立つようがんばります。」を全員で唱和し、創設当時の精神である恩恵に対する感謝や、師・友に対する尊敬の念を新たにしています。

また、当教室の武旗には「洗心」の文字が記されており、心身を研磨し、物事に冷静に対処するという意

味のもと、全員が一生懸命稽古に励んでいます。

現在、会員数二十一名、指導者十一名で、1、2年生は防具をつけずに足さばきや木刀での素振りを遊び感覚を織り交ぜながら、3年生は基本打ち中心に、4年生から6年生は基本打ち、応じ技、互角稽古を中心にしてそれぞれの技量に応じた稽古をしています。その他、各種大会前の強化練習および寒稽古をそれぞれ1週間程度連続して行い、寒稽古納会ではきらやま剣道大会を開催し1年間の稽古の成果を実戦で確認しています。

また、年度末には皆勤賞を授与し、継続しやり遂げることの大切さを実感できるようにしています。さらに、中学校へ入学後も剣道が続けたいという願いから、中学生との交流



会を兼ね6年生を送る会を開催しています。

他にも、保護者に子どもの成長を身をもって感じてもらいたいとの思いから正式な試合形式で、親子剣道大会も実施しています。

今後も会員、指導者が一体となって稽古に励み、教室の誓いの言葉を実践できるよう精進したいと考えています。

### 大東中学校剣道部

大東中学校剣道部は、本年度、元気な新入部員九名を迎え、男子十三名、女子7名、計二十名で活動しています。

剣道が好きで、剣道が続けたいと思う生徒の育成と全員の初段取得を目標に日々、練習に励んでいます。

生活目標として、「大きな声で挨拶する」「きまりや時間を守る」「粘り強く物事に取り組む」ことなど、当たり前のことが、当たり前に行えることを心がけて練習しています。

練習内容は、①「足捌きや素振りなどの基本動作の確認」②「基本の打突」③「応じ技の練習」④「掛かり稽古および稽古」を中心に行っています。剣道を通じて、自分に勝つて初めて、他人にも勝てるのだとい

うことを気づき、気力を充実し、少しでも前に出て人間としても向上してほしいと願っています。

また、日頃より支援していただいている保護者の方々、指導をしてくださる諸先生方、剣道部OB、そして、同じ仲間への感謝の気持ちを忘れずに、日々精進していきたく思います。



### 鯖江高校剣道部

私たち鯖江高校剣道部は去年、当時の3年生の先輩方が引退してから、現3年生1名、現2年生2名の3名で3月まで活動してきました。少ない人数ながらも「真剣に楽しむ」をテーマに、自分で考えて剣道に取り組んできました。昨年に行われた冬の選抜予選では、1勝を挙げるこ



ができました。  
 4月には、新しく三人の1年生が入部し、計六人で練習に日々取り組んでいます。人数も増え、活気あふれる練習ができ、非常に盛り上がっています。  
 昨年度までは、武道場の板間の部分は、週1回なぎなた同好会が、その他の日は剣道部が使用していましたが、なぎなた同好会の部員増加などの理由で、本年度から毎日共同で使用しています。練習場所は少し狭くなりましたが、適宜、部員同士の話し合いで、使用面積を調節しながら練習に取り組んでいます。同じ武道系の部活動として、刺激し合い、よりよい結果を残していきたいと思っています。  
 今後とも鯖江高校剣道部をよろしくお願い致します。

### 剣道 称号段位合格者

#### 剣道段位審査会

平成二十七年二月十五日(日) 於 越前市武道館

#### 「初段」二十九名

- 水野 敬太 (清水中一年)
- 松山 敬介 (勝山南中二年)
- 中瀬 堅斗 (松岡中一年)
- 中西 怜爾 (勝山中中二年)
- 竹本 光希 (松岡中一年)
- 仲野 伊織 (武生一中一年)
- 水島 郁士 (織田中一年)
- 藤原 真之介 (今庄中一年)
- 野村 龍之介 (清水中一年)
- 中村 貴史 (中央中一年)
- 吉村 修斗 (武生三中一年)
- 三村 達哉 (金津中一年)
- 吉江 武司 (武生三中一年)
- 金子 賢造 (今庄中一年)
- 赤星 理翔 (永平寺中二年)
- 井関 賢心 (藤島中二年)
- 竹内 恭輔 (鯖江中二年)
- 小津 匠 (永平寺中二年)
- 鈴木 旦 (鯖江中二年)
- 竹腰 宏夢 (藤島中二年)
- 水上 和紀 (永平寺中二年)
- 三崎 夢旦 (今庄中二年)
- 嶋裕 樹 (会社員)
- 岡南 裕樹 (武生一中一年)
- 西出 光治 (武生六中二年)
- 加藤 華里 (武生六中二年)

#### 「貳段」二十二名

- 長谷川 ゆりこ (春江中二年)
- 八木 香保里 (春江中二年)
- 高矢 陽夏 (武生一中三年)

- 石川 雄海 (春江中二年)
- 小野 弘人 (東陽中二年)
- 増田 翔翔 (鯖江中二年)
- 佐々木 遥翔 (中央中二年)
- 谷下 尚弥 (武生一中二年)
- 八幡 桂志朗 (藤島中二年)
- 後藤 真之介 (明倫中二年)
- 小嶋 耀介 (鯖江中二年)
- 橋本 恭佑 (丸岡中二年)
- 斉藤 憂樹 (朝日中二年)
- 上村 哲平 (中央中三年)
- 坂本 一晷 (丸岡中二年)
- 上村 周平 (中央中三年)
- 加藤 健太 (敦賀比高二年)
- 竹原 裕太郎 (高志高二年)
- 二木 俊行 (名古屋商科大四年)
- 高木 良平 (専門学校二年)
- 貢歩 奈奈 (今庄中二年)
- 小堀 妃奈 (足羽一中二年)
- 板倉 楓都 (松岡中二年)
- 今野 沙紀 (敦賀比高二年)
- 川端 祥能 (仁愛大三年)

#### 「参段」二名

- 小荒 浩夢 (敦賀高二年)
- 網田 浩人 (敦賀高二年)

#### 「四段」四名

- 渡辺 賢 (福井大三年)

#### 「五段」一名

- 前田 嘉一 (公務員)
- 富田 成慈 (刑務官)
- 徳本 英基 (会社員)

平成二十七年二月十五日(日) 於 三方中学校体育館

#### 「初段」四名

- 杉本 琉偉 (高浜中二年)
- 川上 立城 (上中中二年)
- 北村 竜也 (高浜中二年)
- 竹本 昌平 (上中中二年)

#### 「貳段」八名

- 仁尾 光佑 (若狭高二年)
- 堤腰 琴菜 (松陵中二年)
- 池田 二千花 (三方中二年)
- 久保田 早恵 (三方中二年)
- 田辺 有羽 (三方中二年)
- 久保 渚 (三方中二年)
- 桃井 優 (敦賀高二年)
- 光原 智晶 (敦賀高二年)

#### 「参段」六名

- 三辻 颯人 (美方高二年)
- 志賀 涼 (敦賀高二年)
- 中村 匡佑 (美方高二年)
- 木村 顕子 (敦賀高二年)
- 田辺 紗梨奈 (美方高二年)
- 川口 美月 (美方高二年)

### 福井国体特別協力資金納入者名簿

(平27年3月31日現在)

平成25年度から平成28年度の4年間にわたり、ご支援をお願いしております「平成30年第73回国民体育大会福井大会剣道競技 特別協力資金」について、平成26年度にご協力いただいた方は次のとおりです。趣旨にご賛同いただき、厚くお礼申し上げます。

引き続き、「福井しあわせ元気国体」の実施に向けて格別のご高配とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

新島道	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	坂本	小村	小堀	小堀	小島	帰山	木村	菊地	河嶋	川嶋	河越	神園	加藤	奥村	岡田	小形	大森	大畑	梅原	上山	上野	上杉	岩崎	五十嵐	安藤	網田	赤尾	○三段以下 九十三名	(段別 順不同)
重則	奈美	広美	克己	祐代	浩彰	美鈴	善学	和信	甚作	正信	茂茂	温衛	嘉嘉	洋輔	昭信	茂森	康宏	直也	権三郎	権五郎	素夫	保高	吉章	弘弘	勇夫	貞夫	美妃	良信	浩樹	陽子			
(坂井)	(福井)	(大野)	(越前)	(坂井)	(三方)	(坂井)	(三方)	(三方)	(福井)	(大野)	(福井)	(南条)	(越前)	(福井)	(敦賀)	(福井)	(三方)	(越前)	(鯖江)	(鯖江)	(三方)	(越前)	(警察)	(越前)	(坂井)	(南条)	(坂井)	(三方)	(南条)	(三方)			

古川	古河	藤本	藤井	福尾	吹屋	廣野	平田	橋本	橋詰	萩原	野村	野川	野村	能美	西村	西村	西村	西南	南原	中村	中野	中西	中谷	中川	土谷	土田	民谷	玉村	玉村	田中	彦田	竹内	竹内	高橋	新道	
清澄	公利	信太郎	俊博	憲明	光祐	一男	由峰	正希	浩昭	多美子	彦彦	康史	智愛	由翔	泰平	幹男	祥一	香南子	芳樹	正人	実伸	健一郎	秀靖	秀樹	雄夫	秀理	友江	浪佳	隆佳	典惠	和樹	良薫	隆治	行行		
(大野)	(鯖江)	(三方)	(越前)	(福井)	(大野)	(福井)	(勝山)	(越前)	(三方)	(越前)	(南条)	(越前)	(南条)	(南条)	(南条)	(南条)	(福井)	(福井)	(南条)	(越前)	(三方)	(越前)	(大飯)	(福井)	(南条)	(越前)	(福井)	(福井)	(坂井)	(坂井)	(敦賀)	(南条)	(福井)	(坂井)		

河瀬	金子	片山	岡田	大田	大野	梅野	稲葉	伊藤	泉田	○四段 五十一名	吉田	吉川	吉岡	山本	山本	山崎	山崎	山口	岸久	安川	森井	向井	源上	水介	水上	三上	牧野	前川	前川	堀川	堀川	細江	田田	伊都子
亜希代	亮介	外一	明美	香代子	邦夫	秀一	尚嗣	藍子	茂茂		裕孝	文行	四郎	航平	興治	博豊	麻士	貴紀	陽絵	隆昭	弥兵衛	晃嗣	嘉善	善浄	陽介	裕也	泰弘	宏祐	和誠	旨毅	耕明	伊都子		
(敦賀)	(福井)	(福井)	(福井)	(坂井)	(三方)	(丹生)	(坂井)	(坂井)	(敦賀)		(坂井)	(坂井)	(越前)	(南条)	(福井)	(三方)	(越前)	(南条)	(坂井)	(鯖江)	(越前)	(坂井)	(福井)	(越前)	(南条)	(南条)	(福井)	(坂井)	(勝山)	(南条)	(丹生)	(坂井)	(坂井)	

吉田	山本	山田	山原	安原	宮腰	三井	水島	藤本	福嶋	福嶋	橋本	西出	中山	中山	鳥井	立内	竹間	高野	高根	関崎	嶋田	澤藤	佐藤	相模	齋藤	小堀	小堀	小堀	楠西	日下	北村	河辺	河原	河原	河端
喜一	聡也	哲史	篤紀	真雄	茂也	卓吾	真吾	千努	一珠	一郎	栄二	和男	新太郎	武俊	和幸	弘幸	章光	修一	祥斗	さおり	ともみ	義行	将史	智恵美	友廣	規代	完嗣	宏彰	太一	禎彦	音郎	康徹	英明	撰撰	
(福井)	(越前)	(坂井)	(越前)	(坂井)	(坂井)	(福井)	(丹生)	(敦賀)	(坂井)	(丹生)	(越前)	(越前)	(越前)	(三方)	(大野)	(三方)	(坂井)	(鯖江)	(坂井)	(南条)	(坂井)	(勝山)	(福井)	(坂井)	(三方)	(福井)	(福井)	(越前)	(越前)	(敦賀)	(敦賀)	(三方)	(敦賀)	(福井)	

○五段 五十四名

玉谷村伸治	多賀正	高橋克	高橋裕	瀬尾治	鈴木木忠	柴田武	志尾章	澤藤昌	佐藤樹	佐々木憲	齊藤雅	小村みゆき	小寺智	日下左	北野弘	北島俊	岸下仁	川谷保	神谷裕	角田孝	岡田一	岡崎信	岡崎雄	笈谷彦	岩谷治	今井伸	新井洋	渡辺聡	和田保	米田幸	吉村元	吉田豊
(越前)	(敦賀)	(越前)	(丹生)	(鯖江)	(福井)	(丹生)	(坂井)	(坂井)	(敦賀)	(大野)	(坂井)	(坂井)	(大野)	(丹生)	(坂井)	(越前)	(南条)	(敦賀)	(越前)	(越前)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	(福井)	(敦賀)	(三)	(福井)	(福井)	(南条)	(丹生)	(福井)	(三方)

○六段 四十三名

日下博幸	川村義浩	河原信也	河合徳行	金嶋八郎	大辻俊裕	伊川勇哉	朝倉匡	渡邊文夫	渡辺大	和田辰	吉田英	与佐岡	山岸浩	八幡喜	柳原泰	桃井信	室谷中	村中昭	宮澤良	前田浩	前田信	堀井健	藤田平	福野峻	長谷川	橋本美	西川航	中川雅	徳西逸	手橋也	坪賀薫	土谷隆彦
(越前)	(福井)	(福井)	(三方)	(三方)	(越前)	(坂井)	(越前)	(丹生)	(坂井)	(敦賀)	(坂井)	(越前)	(南条)	(福井)	(勝山)	(敦賀)	(坂井)	(福井)	(福井)	(坂井)	(福井)	(福井)	(福井)	(大野)	(坂井)	(坂井)	(南条)	(越前)	(越前)	(越前)	(坂井)	(坂井)

四ツ木善一	山田良	山田裕	山田昭	宮田登	万所佳	鞠山隆	松永ユ	堀江雄	藤田芳	藤嶋浩	福田之	平井剣	中村圭	中嶋多	中嶋喜	寺川英	寺崎雄	辻村慎	田村周	谷崎典	谷口昌	竹下健	竹内巖	竹内哲	関根秀	鈴木史	鈴木朗	澤田泰	猿渡和	坂本裕	坂田豊	近藤高
(南条)	(福井)	(福井)	(越前)	(福井)	(越前)	(敦賀)	(敦賀)	(坂井)	(鯖江)	(坂井)	(大野)	(坂井)	(越前)	(三方)	(鯖江)	(敦賀)	(敦賀)	(坂井)	(越前)	(若狭)	(南条)	(福井)	(坂井)	(福井)	(南条)	(福井)	(福井)	(鯖江)	(大飯)	(福井)	(坂井)	(坂井)

○七段 五十三名

中西泰平	内藤嘉昭	豊本安	枋正治	道内由	堤腰一	堤腰一	田中憲	田口重	高野一	高倉和	高倉則	惣次博	関博	鈴木周	紺屋三	小堀義	小原正	小林憲	小西清	小辻省	小辻淳	喜多村	北出伊	河越純	奥井俊	尾形言	岡田盛	岡田要	大嶋雅	上嶋啓	上嶋滋	岩下卓	今本也	井上満	喜一郎
(三方)	(越前)	(坂井)	(福井)	(福井)	(敦賀)	(敦賀)	(福井)	(鯖江)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	(福井)	(越前)	(坂井)	(坂井)	(三方)	(福井)	(福井)	(三方)	(福井)	(敦賀)	(福井)	(坂井)	(福井)	(敦賀)	(越前)	(坂井)	(坂井)	(敦賀)	(三方)	(坂井)	(福井)	(福井)	(福井)	

○八段 三名

堀江範雄	相模利朗	川野学	米納智	吉川忠	山本英	柳原潤	森岡裕	宮川保	松本敏	松井昇	松井喜	前田裕	前田穂	前田純	前田久	船田三	福嶋俊	半田隆	林茂夫	西川茂	中川英
(坂井)	(福井)	(福井)	(坂井)	(坂井)	(福井)	(福井)	(越前)	(越前)	(越前)	(福井)	(福井)	(警察)	(南条)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	(坂井)	(福井)	(南条)	(敦賀)

○団体・賛助会員  
 若狭地区剣道連盟  
 株式会社マルツ電波  
 千寿会医療福祉グループ  
 株式会社フクイン  
 石橋壮一郎  
 高森政義

ペンリレー

## 女性剣士の部屋



私にとつての

「剣道」のスタートは、さかのぼると羽水高校の剣道場にたどり着きます。今思うと、心技体と

もにあの道場での、多くの先生方や先輩方のご指導によって培われてきたものにほかなりません。私の体の一部となった福井の剣道は、羽水高校を卒業して福井を遠く離れた今も、私の中に確かに息づいています。

今私は、東京杉並の國學院大學久我山中高等学校で、保健体育科の一員として教職に就いています。授業として私が剣道の指導に当たっているのは、女子中学一年生です。一学期は保健二、三学期は剣道という変則的なシラバスで、限られた期間での指導となりますが、ここでは、この初々しい百四十名の少女たちへの授業の様子をご紹介します。

剣道場には、ジャージ姿の生徒たちが並びます。剣道の授業は、二、三学期のみの、週一回五十分間ですから、防具を着けて稽古をするまでには至りません。しかし、このように限られた時間の中での指導であるからこそ、「基本」の習得が最も大切であると考えています。徹底して刃筋正しく。

大きく振りかぶることを意識して。

荒木 まみ子

素振りや打ち込みを通して、剣道の基礎が身につくように、常に意識して指導に当たっています。そして、授業の初めと終わりには、必ず正座・黙想・礼法。剣道において、大切なのは心です。礼儀正しく、他者への感謝の気持ちを持っていくことです。その想いが伝わったのか、生徒の感想文には「技術だけでなく、礼儀が大切だとわかったので良かった」というコメントもありました。

生徒たちは初めて体験する剣道に良い印象を抱いてくれるようで、表情もいきいきとして、剣道への感想を述べる口調は明るく楽しそうです。「大きな声を出すのが気持ちよかった」とか、「私は姿勢が悪いので、それを直そうと思うきっかけになった」と、感想文には肯定的な意見や、感謝の言葉が並びます。それを見るにつけ、私の心にも生徒と同じような感謝の思いが溢れてきます。私に剣道の技と精神を教えてくださいました福井の時代があったからこそ、今こうして次の世代に、剣道の良さを伝えることが出来ているのです。

今はジャージ姿の生徒たちですが、いずれは凛々しい剣道着姿で『木刀による剣道基本技稽古法』を披露する「ハレの日」が来ることをひそかに願っています。

羽水高校の剣道場で始まった私の「剣道」は、現在東京の地で、子どもたちの心と体を育てています。



